

相双分区ガバナー補佐挨拶
2026-27 年度相双分区ガバナー補佐
西山由美子（富岡ロータリークラブ）

2026-27 年度相双分区ガバナー補佐を務めさせていただきます、富岡ロータリークラブ所属の西山由美子でございます。一年間、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

本年、私たちは東日本大震災から十五年という大きな節目を迎えます。相双の地には、いまだ災害時から時計が止まったままの場所もある一方で、復興が進み、大きく変わりゆく地域もあります。その現実を胸に刻みながら、私たちは歩みをすすめてまいりました。

世界に目を向ければ、今なお紛争や戦争が続き、平和の尊さが改めて問われています。そのような時代だからこそ、私たちロータリアンは「平和のために何ができるのか」を真剣に考え、行動に移すことが求められていると強く感じております。

今年度、金田昇ガバナーは、オンラインカ・ハキーム・ババロラ RI 会長のメッセージを受け「連携と連帯で、クラブ・地区・一人ひとりに持続可能なインパクトを生み出そう！」と力強く提唱されています。この方針を実現するため、私はガバナー補佐として、

- ・地区とクラブの連携をより確かなものにすること
- ・相双分区 6 クラブの連帯感をさらに深めること
- ・会員同士の友情と信頼の輪を広げること

これらに全力で取り組んでまいります。

さらに、相双分区の重要課題である「会員がやめないクラブづくり」にも力を注いでまいります。そのために、三つの取り組みを柱として進めてまいります。

1. 例会出席率 100%へのチャレンジ

前例にとらわれない会長・幹事のオリジナリティを活かし→”楽しい例会・行きたくなる例会・参加して良かったと思える例会”を目指します。

2. My ROTARY 登録率 100% + 地区主催セミナー参加率 100%

会員一人ひとりのリテラシーを高めることは、クラブ活性化に直結します。

3. メーキャップの推奨

クラブを越えた交流は温かな関係性を生み、互いに学び合う姿勢を育てます。その積み重ねが相双 6 クラブ全体の成長と連帯感につながります。

ガバナー方針との整合性を保ちながら相双分区の課題解決を図り、会員のリテラシー向上と、ロータリーの楽しさを実感できる環境づくりを通じて、「帰属意識の高まり」→”退会防止”→”クラブの活性化」という好循環を生み出してまいりたいと考えております。

みなさま、ロータリーをさらに楽しく、魅力ある場所にしてまいりましょう！

今年一年間、皆さまのご指導とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。